土浦・つくば支社 ☎029(822)4567 ファクス(823)6488
取手・龍ケ崎支局 ☎0297(72)1139 ファクス (74)2700
石岡支局 ☎0299(26)6100 ファクス (26)6405

県南

小美玉の「空の駅」

地域の独自料理販売へ

茨城空港近くに直売、物販、レストランなどを備えた複合施設「空の駅」（仮称）の整備を進めている小美玉市は、地域独自のオリジナル料理を作り出し、空の駅での販売を目指す。28日には、地元主婦らが協力する食のワークショップを開催。出来上がった料理を参考に、来年3月に「小美玉市オリジナル創作料理」として誕生させる。

地域独自のオリジナル料理創作へ行われた食のワークショップ＝小美玉市小川保健相談センター

主婦ら30人、創作協力

市は、地元生産者や商工、観光関係者らで構成する小美玉地域再生協議会を8月に発足。同協議会を中心に、地域ならではの農畜産物を再発見し、その食材を活用した独自料理の開発を進めている。農水省ブランド化推進事業プロデューサーなどを務める金丸弘美さんや料理研究家の馬場香織さんら外部識者も同協議会委員に名を連ねており、地元主婦らが協力する「食のワークショップ」で開発を進める。

第2回食のワークショップは同日、同市小川の小川保健相談センターで開かれ、地元の主婦ら約30人が参加。第1回目を経て食材の候補に挙げられたレンコン、イチゴ、ゴボウ、ブルーベリー、柿、霞ケ浦水産物の6品で44料理を作り出した。今後、試食会での評価や茨城空港でのイベントでの実践販売などを参考にし、オリジナル料理として完成させる。市担当者は「生産、加工、販売をつなげた6次産業を空の駅で具現化していきたい」としている。

（黒羽根勝弘）

茨城新聞HPに動画

20チーム熱戦へ

岩瀬LC杯少年野球

来月2日 桜川

岩瀬ライオンズクラブ（小塙正明会長）が主催する「第4回岩瀬ライオンズクラブ杯少年野球大会」は12月2日、桜川市の岩瀬総合運動公園ラスカなど4会場で、連覇を目指す岩瀬東野球スポーツ少年団（桜川市）など計20チームが参加して熱戦を繰り広げる。

同大会は例年、年明け2月に開催してきた。しかし厳冬下のグラウンド状況に配慮し、繰り上げ開催となった。荒天による予備日は12月8日と決めた。

開会式は、午前8時から同公園ラスカで行う予定で、5ブロックでのトーナメント戦後、午後3時から表彰式。優勝チームには優勝杯、賞状、メダルが贈られる。

また、成績上位チーム（準優勝・3位）に賞状とメダルが贈られるか、最優秀選手賞も各個人賞も選出ろの努力をたたにしている。

同クラブ青少員長の川俣均さ年野球を支援する青少年の健全育したい。この活動で活躍できる人につながれば」、ちの健やかな成を寄せている。

強盗への対処 15人が再確認

小美玉で訓練

金融機関を狙った犯罪未然防止のため、石岡地区金融機関防犯連絡会（会長・浅藤祐二常陽銀行石岡支店長）は28日、石岡警察署の協力で小美玉市与沢の橘郵便局（長島雅之局長）で強盗行った。

局員と人が参加ソリンの入ったペライターを押し入り、するとの想た。

同署員「金を出し

された阿見町のボランティア団体「よむよむの会」が28日、同町役場を訪れ、天田富司男町長や青山寿々子教育長に同校で月2回、朝の読書時間に児童へ読み聞かせを行ったり、本の紹介などを実施している。長謝を述べた。同会は「子どもたちが少しでも元気になるよう、朝から楽しい読み聞かせをやりたい」と語った。

天田富司男町長（右）と報告するボランティアメンバー

情報クリック

日午前10時、午後1時30分の2回、中央の土浦まちかど蔵「野村」。各回先着5人。体験料2千円。市観光協会☎029の管理栄養士、野口律奈さんが講演。無料。7日までに申し込む。市健康増進課☎0297(25)20

講師は中央子主任研究研究所情報